施設の顔　相談員の想いをスクープ！

ハトホームへの入所を考える際に、まずお話をさせていただくのが“相談員”です。
施設での生活のご案内から、様々な行政手続き等のご相談を承っております。
いざ入所となれば、施設内の連絡・調整、ご家族やご本人の希望や不安をお伺いして各職種と談判するなど、とても頼りになる存在です。
マルチプレーヤーとして幅広く活躍する相談員。
ハトホーム（特養）では、現在２名の相談員が皆様の希望に沿う生活を実現するために奮闘しています。
それぞれにテイストの違う相談員に突撃取材を敢行しました!!

【２階　大野相談員】

可愛い犬の写真でいっぱいのドアを開けると、大野さんが居ます。主任相談員として、入所の相談や各種書類仕事に追われ、デスクに張り付く日々を送っています。

もちろん、入居者やご家族との相談や各専門職、行政機関との連絡・調整なども、笑顔でしっかりと対応してくれます。

難しい舵取りを迫られる場面もありますが、持ち前の〝前向き思考〟で取り組んでいます。

笑顔の入居者を見ることが喜びで、ご家族からの「ハトホームで良かった」との言葉が、最高にやりがいを感じる瞬間だそうです。

みんなが笑顔で、ご家族にも安心していただける〝アットホームなハトホーム〟をモットーに…。頼りにしています、大野主任！

【３階　柏木相談員】

〝剛毅朴訥は仁に近し〟を地で行く印象の柏木さん。常に「その人らしい人生とは？」という問いを胸に、入居者やご家族と関わっています。特に、意思表示の難しい入居者の〝隠された真意〟の探求に心を砕いているようです。

そんな柏木さんが頼りにしているのは、介護支援専門員をはじめとする各専門職の同僚たちです。

〝ハトホームで提供できる最善は？〟

それぞれが知恵を出し合い、議論を交わし、協働できるチームであることが、ハトホームの強みだと感じているそうです。

これからも支援者として、誠意をもって誠実に対応していくことを心掛けたいとのことです。

新型コロナウイルス感染症禍における様々な自粛へのご協力に感謝いたします。
ハトホームでは、６月までに〝ワクチン２回の接種〟を済ませることができ、
まずは一安心の状況ではありますが、ブレイクスルー感染の報告も聞かれております。
引き続き、感染予防に努めていきます。今後ともご協力のほどお願いいたします。

《発行》　社会福祉法人　村山苑
特別養護老人ホーム　ハトホーム
発行責任者　兼市琢磨
《編集》　ハトホーム　広報委員会
〒１８９－００２４　東村山市富士見町２丁目７番５号
TEL　０４２－３９３－７５７４
https://www.murayamaen.or.jp/hatohome/
2021 年９月末日　発行

お知らせコーナーも
随時更新しています。
ぜひご覧ください。

※写真・作品は、個人情報保護法に基づき、本人承諾のうえ掲載しています。

FREE　ご自由にお持ちください。

表　紙：「新人職員紹介」
見開き：「素顔」　「感染症 BCP 研修」
「歯科さんが替わりました」
裏　面：「相談員の想いをスクープ！」

新人職員紹介コーナー

連載　第４弾!!

嬉しいことに、この１年の間で多くの職員を迎える事ができました。数回に分けて、ご紹介させていただきます。

【 ３階　介護職員　中野さん 】

村山苑に転職をしようと考えた理由は、家から近く、そして規模が大きい法人だからです。職員の数が多いと、介護の技術等の情報や話題が豊富で、意見の交流が活発と感じました。

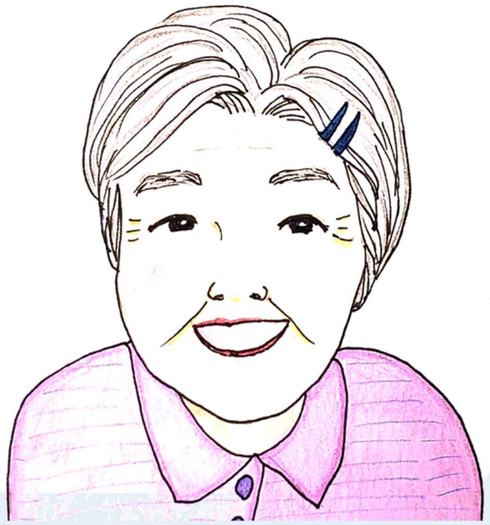
また、ハトホームは、問題意識を持って仕事をしている職員が多くいるように感じています。新しい職場は、新たな考え方や気づきがあるので、良い所は積極的に自分に取り入れて、向上していきたいと思います。より成長し、利用者の方だけでなく、ご家族の方からの安心や信頼をしていただける職員になるよう、頑張っていきます。

【 看護職員　遠藤さん 】

特養は初めての勤務となります。いろいろと初めて経験する事も多いですが、これまでのキャリアを活かして、頑張ります。仕事をする上では「利用者の皆さんと同じ目線で物事を考えるように」、と努力しています。そうする事で、皆さんの些細な身体や心の変化に気づく事ができればと思っています。

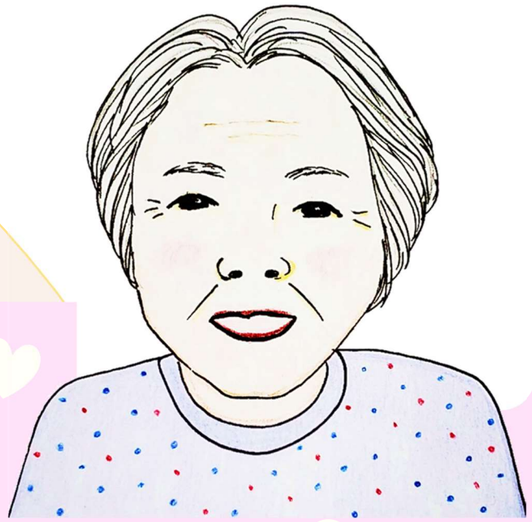
先日の終戦記念日に、利用者の方が当時のお話を聞かせて下さいました。その頃のお話を聞くと、私たちももっと頑張らなければいけないなと、励まされました。

「入居者さんの素顔」



中庭を眺めながら回廊を歩くのが日課の房子さん。
一日何週もめぐる健脚ぶりです。
ハトホーム入所前は、日がな一日ラジオを聴きながら
お部屋のベッドでお過ごしだったとか？
全く想像もつきません。

対人関係はあまり積極的でない房子さんですが、
「こんにちは！」と声をかけると満面の笑みで応えてくれます。
目黒の食堂でウエイトレスをしていた若かりし頃に鍛えたのでしょうか？
ピッカピカの笑顔ですね!!



福岡イチのおてんば娘を自称するシズ子さん。
お声をかけると
「なんじゃらほい！」と返事を返すお茶目さんです。

二十歳で原宿に上京。
紳士服の仕立てをしながら　法学部 法律学科を卒業。
文学にも造詣が深く、文藝書房から自叙伝を出版したそうな。

そんな多才なシズ子さんのマイブームは〝ハンサム〟。食事中にも「ハンサムとは～」と持論を披露。
イケメン揃いのスタッフの中から〝好みのハンサム〟を目で追っています。
運よく関わった日には、キラキラした瞳で嬉しそうに報告してくれます。

感染症ＢＣＰ研修

先日、施設内にて感染症 BCP についての研修が行われました。

“BCP”とは、Business Continuity Planning の略です。もともと地震や台風など自然災害等により、危機的状況に遭遇した際も、事業を途切れずに維持・継続するため、準備を事前に行っておきましょうという計画の事です。今日では感染症の流行においても、BCP が必要とされています。

計画があっても、実際に中身を職員が理解していなければ、絵に描いた餅…
研修を通じて、わたしたちが困難に直面した時には、どのように行動するべきで、
なにを優先すべきなのか、共有しました。

非常事態をイメージすると、たくさんの不安な思いがこみ上げて来ますが、
このように行動を整理するだけで、幾分か安心に繋がっていきますね！

陰圧前↓

陰圧後↓

新型コロナウイルスが流行り出してから、わたしたちの施設にも
新たな設備が設置されました。陰圧装置”（以下写真）です。

感染症が流行った時には、汚染区域と清潔区域を分けて、
ゾーニングし、対処していく必要があります。

ゾーニングの効果をより高めてくれる　“陰圧装置”。
使い方や効果についても、今回確認する事ができました。

歯科さんが替わりました

昨年から打ち合わせを進めていた〝**いながき歯科クリニック**〟さん。
４月の無料検診を終え６月から本格的に訪問診療を開始しました。

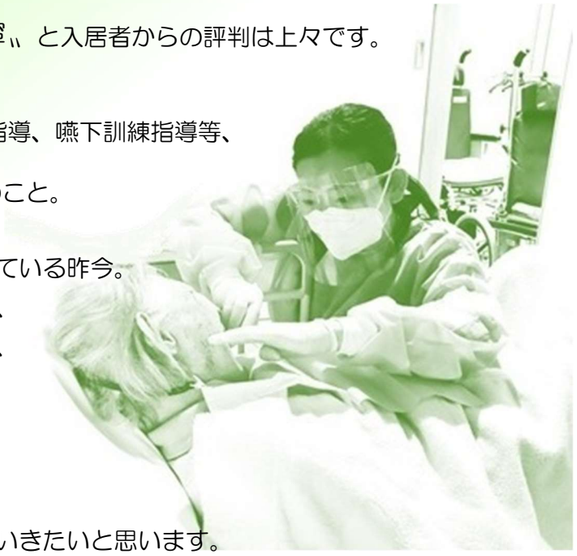
無料検診の結果をご覧になったご家族の皆様から、
ぞくぞくとの形容がピッタリするほどに申し込みが殺到しております。

週２回、治療や義歯の調整、口腔ケア等の診療をしています。

〝話をよく聞いてくれる〟　〝とっても丁寧〟と入居者からの評判は上々です。

職員からも、お部屋での診療をお願いしたり、
嚥下内視鏡検査（VE）による嚥下機能の評価や食事指導、嚥下訓練指導等、

〝気軽に相談ができる〟と頼りにしているとのこと。



とりわけ〝栄養〟や〝口腔〟に関する事柄が注目されている昨今。
認知機能低下の予防には〝地中海食〟が良いとか、
口腔ケアには認知機能低下に抑制効果がある等々、
まだまだ研究途中ではありますが、
少しずつ立証されてきているようです。

〝口腔機能の維持改善〟

いながき歯科さんと協力して、取り組みを進めていきたいと思います。